

見える対策、見せない農薬。環境負荷低減と省力化を両立する防除方法を実証！



粘着ロールテープ設置の様子
(いちご)



粘着ロールテープ設置の様子
(トマト)



導入した資材
(ホリバーロール)



現地研修会の様子

1. 地域の特徴と取組の背景

- 三好地域は、標高1,000mの高冷地「水の丸地区」の夏期冷涼な環境を活かして、**夏秋トマト**の生産や、高冷地での**夏秋いちご**と平坦地での**促成いちご**を組み合わせた「周年いちご栽培」が行われている。
- 近年、各品目でアザミウマ類やコナジラミ類による被害が増加しており、化学農薬に対する**薬剤抵抗性**の獲得も危惧されている。
- 物理的防除方法や化学農薬以外の農薬を組み合わせ、**環境負荷低減と省力化を両立**させた防除方法の導入が求められている。

3. 取組の成果

- 粘着ロールテープの導入により、**夏秋いちごでは15%、促成いちごでは25%、夏秋トマトでは20%の化学農薬低減**につながった。
- 実証結果に基づき、粘着ロールテープ等を活用した**栽培実証マニュアル**の作成及び**産地戦略**の策定を行った。

2. 取組の概要

- 粘着ロールテープの導入 (IPM物理的防除資材)**
害虫を長時間捕殺する**ホリバーロール (ブルー、イエロー)**を活用することで、**化学農薬の使用量低減や省力化を目指す**。
 - ・いちご：**ホリバーロール(ブルー)**を活用し、**いちごの難防除害虫のアザミウマ**を強力な粘着力で捕殺し、**化学農薬の使用量を低減**。
 - ・トマト：**ホリバーロール(イエロー)**を活用し、**コナジラミ類**を強力な粘着力で捕殺し、**化学農薬の使用量を低減**。

4. 今後の展望

- 令和5年度に作成した、粘着ロールテープ等を活用した栽培実証マニュアルを基に、講習会や現地巡回等において、**地域への普及・定着**を図る。
- より効果的なロールテープの設置方法や設置タイミング、他メーカーの低コスト資材の**効果を検証**し、実践がしやすく、防除効果の高い技術へと**ブラッシュアップ**していく。

問い合わせ先

三好地区環境負荷低減技術普及推進協議会 (三好農業支援センター TEL: 0883-76-0654)